

令和7年

4月19日(土)

氏神様をまん中に

下平丸
もぐさ観音ご開帳と



大慈大悲観世音菩薩
「もぐさ観音」

観音堂は午前8時前から
開いています

参拝はおさい銭のみ

※ 別途お守りの販売もあります

当日は晴れますように

前は小雨模様の中、急遽
テントを掛けての巡行。
お陰さまで途中からは晴れ。
今回は晴れますように。

かつては地元だけでもこの
ような盛り上がりでしたが、
今回は地域外からの応援団
たよりの取組みです。

ジャンボ・スゲ牛が
ねり歩きの春まつり

大字下平丸事業

主 幹：まつりプロジェクトチーム

問い合わせ：霜鳥榮之 090-4662-2737

令和7年4月19日(土)

午前9時から

9時～ 氏神様(諏訪社)のお祓い
ジャンボスゲ牛もお祓いの後巡行
(約1時間の予定)

10時30分～ 観音堂にて読経
飯山市の曹洞宗三嶋山高原院
前住職 江澤一遠(イツヲ)氏

11時 白岩会館に移動

11時15分～ 開講セレモニー
30分～ 高原院前住職の講話
〔大慈大悲観世音菩薩像
(もぐさ観音)の歴史等〕

講話終了後は参加者全員、自由参加で
慰労も兼ねた交流懇親会を行います。

(特に会費等は予定していません)

妙高市平丸に残る伝統と文化

「平家落人の里」に祀られている

大慈大悲観世音菩薩像（もぐさ観音像）

平家落人の里と呼ばれる平丸。その由来を今に伝えるのが一体の観音菩薩像です。正式名称は「大慈大悲観世音菩薩（もぐさ観音）」と言います。大慈大悲観世音菩薩像は、高麗の僧侶から宮家に贈られたものと言われ、それを源平合戦のおり平家の落人が運びだし、何代か後高源院に預け平丸に隠れ住んだという由来が高源院と平丸に残された古文書に書き記されています。以来下平丸では毎年4月18日19日の二日間「大慈大悲観世音菩薩」の御開帳が行われ、7年に一度飯山曹洞宗三嶋山高源院に観音像を運び御開帳が行われてきましたが、最近は数年来行われていません。

今回、高源院の前住職 江澤一遠（イツン）氏をお迎えしての読経と、「大慈大悲観世音菩薩像（もぐさ観音像）」の歴史の講話を頂く運びとなり、深く感謝申し上げますと共に、これを機に途絶えていた山車の集落巡行が行われ、ひと時の祭り気分に入れることも皆さんと一緒に喜びたいと思います。

講話についての取組みは、今後は大変困難になっていくことと思います。このようなことから、今回は大変貴重な機会としての取組みとなります。

この機会に是非じっくりと講話をお聞きいただきたいと思います。



飯山曹洞宗三嶋山高源院



「観音堂」に祀られている
大慈大悲観世音菩薩像



高源院と平丸に残る



平丸スゲ細工保存会が活動を始めた翌年の春（10年前）のお祭りで、ジャンボスゲ馬の借用を機に保存会の皆さんが中心で、地域と共に久しぶりのジャンボスゲ馬の地域内ねり歩きが行われました。

久しぶりに日の目を見たジャンボスゲ馬

